

科目区分	専門科目(必修科目)			
授業名	美容実習		担当講師	
内容 (授業概要)	美容師になる為の基礎的技術を美容技術理論と並行して学び、理論に裏付けされた技術を体感させる。	学科	美容学科	
		学年クラス	1年	
		設定時期	通年	
		回数	170回	
		時間数	1回=1時限 50分×3	
		総時間数	510時間	
目標	ヘア・メイク・エステ・着付け等の基本手技を重点的に学び、1年を通して、幅広い美容技術をそれぞれの理論と技術に伴ったスムーズな動作で行えるようになることを目標とする。			
授業計画	美容実習	510h	1～10回	<ul style="list-style-type: none"> ●カッティング ・器具・用具取扱い及び各部名称 ・頭部の区分 作業姿勢 ・シザーズの開閉 頭部ブロッキング スライス シェープ ・カットウィッグによるワンレングスカット ・ワインディング用ウィッグカット(レイヤーカット)
			11～15回	<ul style="list-style-type: none"> ●ワインディング ・器具・用具のセッティング 用具取扱い及び名称 ・頭部の区分 作業姿勢
			16～21回	<ul style="list-style-type: none"> ・ワインディングブロッキング スライス コーミング パーティン ・ワインディングブロッキング 10ブロック
			22～27回	<ul style="list-style-type: none"> ・ロッドの選定方法 ・スライスの仕方 ベースの厚さ シェーピング ・ステムの角度とボリュームの関係 ・毛先の処理と巻き方
			28～31回	・ロッド上巻き基本 輪ゴムのかけ方
			32～35回	・ロッド下巻き基本 輪ゴムのかけ方
			36～39回	・オールパーパススタイル センター 構成
			40回	・オールパーパススタイル センター 構成理解・習熟度チェック
			41～46回	・オールパーパススタイル バックサイド 構成
			47回	・オールパーパススタイル バックサイド 構成理解・習熟度チェック
			48～50回	・オールパーパススタイル サイド 構成
			51回	・オールパーパススタイル サイド 構成理解・習熟度チェック
			52～80回	・オールパーパススタイル 全頭巻き練習
				●定期試験 ワインディング(全頭35分間)
			1～10回	<ul style="list-style-type: none"> ●シャンプー ・お通し クロスかけ 声掛け シャンプーイング お流し リンシング ・マッサージ(軽摩法 揉捻法 叩打法 鎮静法) ・トリートメント
			1～25回	<ul style="list-style-type: none"> ●ワインディング オールパーパス 全頭巻き オールパーパス全頭巻き タイムトライアル 45分間→25分間 ・美容師国家試験課題構成 ・美容師国家試験課題 採点のポイント ・ロッド配列 ステムの角度と方向性
			1～10回	<ul style="list-style-type: none"> ●カッティング レザーカット モデルウィッグカット
			1～25回	<ul style="list-style-type: none"> ●オールウェーブセッティング ・ウィッグ調整 ・ヘアカーリング(スカルプチュアカール) ・ヘアウェービング ハーフウェーブ ・フルウェーブ リッジ ノーパート7段構成
			1～10回	<ul style="list-style-type: none"> ●アップスタイル ・一束 ゴムで束ねる ブラシ使い方 ・編みこみ ・シニヨン すき毛作り方 ピニング

		1～10回	<ul style="list-style-type: none"> ●着付け ・長襦袢着付 体型補正 ・訪問着着付 変わり結び
			●定期試験 ワインディング(全頭20分間)
授業方法	実習方式を基本に、モデルウィッグ、相モデルで行う。		
評価方法	出席率10%・授業態度10%・期末試験80%で総合的成績評価とする。		
教員紹介	考査は70点以上/100点で合格。70点未満は再試験を行う。		
	担当教員は、美容師免許取得後、サロンに従事し、厚生労働大臣認定 日本理容美容教育センター主催の教員研修(4年以上の者が受講)で教員免許を取得。美容師としての実務経験を活かし、美容師養成に向けて授業を展開する。		
教科書	美容技術理論 I・II 美容実習 I・II		
用具	モデルウィッグ クランプ タオル コーム類 ロッド、ペーパー ゴム 台皿 スプレイヤー セットローション スポイド ピン類 ブラシ類 ドライヤー シザーズ ダッカー 着物 長襦袢 帯 小物類		
履修上の注意事項	授業に参加する服装として必ず白衣と本校指定の上履き着用する事。また長い髪はまとめて作業に適した髪型にする。 腕時計、指輪、ピアスなどのアクセサリは外して実習を行う事。		

科目区分	専門科目(必修科目)			
授業名	美容実習		担当講師	
内容 (授業概要)	前期は美容技術の基本と並行して、よりヘアスタイルの完成系に近づいた技術を修得する。後期は国家試験対策を踏まえた授業展開を行う。	学科	美容学科	
		学年クラス	2年	
		設定時期	通年	
		回数	130回	
		時間数	1回=1時限 50分×3	
		時間数	390時間	
目標	サロンに就職してからの早期入客を目指し、実践的な実習を行う。また、2年間の集大成となる美容師国家試験に合格をし、美容師免許を確実に取得することを目標とする。そして美容師としての第一歩を踏み出す。			
授業計画	美容実習	390h	1～5回	●ワインディング ・美容師国家試験課題構成 センター・フロント構成 ・美容師国家試験課題構成 センター・フロント構成理解・習熟度チェック
			6～7回	・美容師国家試験課題構成 バックサイド構成 ・美容師国家試験課題構成 バックサイド構成理解・習熟度チェック
			8～9回	・美容師国家試験課題構成 ネープ及びサイド構成 ・美容師国家試験課題構成 ネープ及びサイド構成理解・習熟度チェック
			10～20回	・全頭巻き20分間
			1回	●カッティング ・セッティング 用具取扱い 作業姿勢 ・シザーズ開閉
			2～3回	・セიმレイヤーカット グラデーション ・ガイドに合わせたカットライン
			4～6回	・グラデーションカット ・パネルの角度とカットライン
			1～2回	●オールウェーブセッティング ・ウィッグ調整
			3～6回	・フィンガーウェーブ 7段構成
			7～8回	・ピンカール(スカルプチュアカール)
			9～10回	・ピンカール(クロッキノールカール)
			11～12回	・ピンカール(リフトカール)
			13～14回	・ピンカール(メイポールカール)
			15～20回	・美容師国家試験課題 オールウェーブセッティング ・美容師国家試験課題 採点のポイント ・全頭構成25分
			1～4回	●ヘアアレンジ ・カールアイロンワーク ・スタイリング
			1回	●定期試験 美容師国家試験課題ワインディング・ノーパート7段構成
			1回	●アップスタイル ・逆毛の立て方 スタイルに合わせたすき毛作り
			2～4回	・束髪
			5～7回	・夜会
			8～10回	・新日本髪
			1回	●ヘッドスパ ・カウンセリング クロス掛け ストレッチ
			2～3回	・マッサージ(軽摩法 揉捻法 叩打法 鎮静法)
			4～10回	・シャンプー トリートメント
			1～18回	●美容師国家試験課題ワインディング 全頭巻き18分間 修正2分間
			1～18回	●美容師国家試験課題ノーパート7段構成 全頭23分間 修正2分間
			1～20回	●美容師国家試験課題 カッティング ベースカット16分間 チェックカット4分間
				●定期試験 美容師国家試験2課題
				●カラーリング

		1～4回	・リタッチ塗布 グレーカラー ・全頭塗布・クロスチェック 時間100分間
授業方法	実習方式を基本に、モデルウィッグ、相モデルで行う。		
評価方法	出席率10%・授業態度10%・期末試験80%で総合的成績評価とする。 考査は70点以上/100点で合格。70点未満は再試験を行う。		
教員紹介	担当教員は、美容師免許取得後、サロンに従事し、厚生労働大臣認定 日本理容美容教育センター主催の教員研修(4年以上の者が受講)で教員免許を取得。美容師としての実務経験を活かし、美容師養成に向けて授業を展開する。		
教科書	美容技術理論Ⅰ・Ⅱ 美容実習Ⅰ・Ⅱ(日本理容美容教育センター 発行) 国家試験課題集(理容師美容師試験研修センター 発行)		
用具	モデルウィッグ クランプ タオル コーム類 ロッド、ペーパー ゴム 台皿 スプレーヤー セットローション スポイド ピン類 ブラシ類 ドライヤー シザーズ ダッカール カールアイロン ストレートアイロン		
履修上の 注意事項	授業に参加する服装として必ず白衣と本校指定の上履き着用する事。また長い髪はまとめて作業に適した髪型にする。 腕時計、指輪、ピアスなどのアクセサリ対は外して実習を行う事。 美容師実技試験合格に向けて器具・用具の衛生取り扱い動作にも気を配り実習に臨む事。		